

佐賀市総合計画審議会 意見整理表

| No | 基本政策 | 施策 | ページ | 区分 | 発言者 | 発言内容 | 対応方針 | 計画素案 [6.14時点] | 計画修正案 |
|----|---------|-------------|----------|----|--------------|--|--|---|--|
| 1 | 序論・基本構想 | 人口ビジョン | 13 | 意見 | 杉山委員 | 人口減少について、人口増加を見据えた対策もあわせて書くべきではないか。市でも様々なイベントを実施していると思うが、出会いの機会を取り入れるなどの、工夫ができれば、多少なりの人口増加も期待できるのではと考える。 | 「人口ビジョン」の中で、人口減少に対する考え方として「政策を打つことで改善する（人口減少の幅を上向させる。）」と記載しており、人口を増やすことについても見据えて考えていく。 | | |
| 2 | 序論・基本構想 | 序論 | 5 | 意見 | 野中委員 | 計画の進行管理について、行政に必要なのはPDCAであるべき。肝心なアクション（A）が欠けていることが問題である。アクションがないために、過去に市が作成した様々な計画が実行に移されず、結果が出ていない事例があった。 | 評価（See）の中に「Check（評価）」と「Action（改善）」を包含する意図だったが、意見を踏まえ、より区分が明確になるようPDCAの図に差し替える方向で検討したい。 |  |  |
| 3 | 序論・基本構想 | 将来像 | 24 | 意見 | 野中委員 | 2040年に目指す姿について、目指すまじりの方向性は認識できた。しかし、佐賀は歴史や文化において素晴らしい城下町であるという点が前提にある。ただ、現実には無計画な施設の建設や、高層のマンションが建設されるなど、佐賀市らしさが失われつつあるとの懸念がある。佐賀市のまちが好きであると同時に、市民が誇りを持ってのようなビジョンであるべきだと考えている。 | 佐賀らしさについて、一人ひとり考える佐賀らしさはみんなそれぞれ違うと認識。今後、各委員から何を大切にしながら、まちづくりを進めるべきか、様々なご意見をいただきたい。 | | |
| 4 | 序論・基本構想 | 序論 | - | 意見 | 今村委員 | 計画策定には膨大なエネルギーが必要と感じる。しかし、計画策定後の社会が実際にどのように変化するかは分からないところがある。特にパンデミックのような出来事が未来を予測するのを難しく、不確実性や変動性、複雑性、不透明性が増している。つまり、計画どおり進まないという前提で計画を立てることが、大事だと考える。 | 今回の計画策定において、新たに計画のアクションプランを策定する。4年ごとに更新するこのアクションプランの中で、取組内容をブラッシュアップする。 | | |
| 5 | 基本計画 | 横断的な視点 | 34 | 意見 | 今村委員 宮城委員 | 計画の横断的な考え方が大変重要だと考えているのだが、その中で外国やグローバルの観点についてはもう少し強調されても良いと考える。観光や教育などの分野で外国人の受け入れや労働力の活用が地域経済にとって不可欠であり、インバウンドやグローバルな視点を持つことは佐賀市にとって大きな価値判断である。 | 今後、グローバルの視点について、重要性が増すものと認識している。意見を踏まえ、横断的視点「多様性」のリード文に外国人の社会参画の要素を織り込む。 | ●多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ 社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダーなどの多様性を認め合う社会の実現が求められています。 このような変化を互いに受け入れながら、市民がそれぞれの立場、特性、権利を理解し、尊重した上で支え合い、一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができるように、みんなが積極的に協力する社会を目指します。 | ●多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ 社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダー、 グローバル化 などの多様性を認め合う社会の実現が求められています。 このような変化を互いに受け入れながら、市民がそれぞれの立場、特性、権利を理解し、尊重した上で支え合い、一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができるように、みんなが積極的に協力する社会を目指します。 |
| 6 | 序論・基本構想 | 土地利用 | 31 32 | 意見 | 宮崎悟委員 | 今の佐賀市の将来像が明確でないと感じている。総合計画を読んでも、理解が難しい。しかし、16年後のある程度の想定はできると考えており、住宅地の高齢化やフル規格新幹線が例に挙げられる。他にも、50戸連たんで、都市部から郊外に宅地を広げておきながら、今になって、都市部への集約は難しい部分があるのではないかとと思う。もう少し具体的に、現状と将来展望について、行政が考えていることが明確になれば議論が深まると考える。 | 50戸連たん制度と新幹線等の個々の課題については、内部で検討を行っている。 | | |
| 7 | 序論・基本構想 | 序論 | - | 意見 | 鳥井委員 | バックカスティングの発想を考えたとき、経験則に基づいて考えてしまうのではないかと感じている。その観点で、この審議会の委員について、もう少し若い方が入っていても良かったのではないかと考えた。たとえば、大学生等にリモートで入ってもらえば、将来どんな佐賀市に住みたいのかは、若者は真剣に考えると思う。 | 総合計画の策定にあたって大学生を対象としたワークショップを開催している。佐賀市総合計画審議会条例の規定により、委員として参加してもらうことは困難だが、パブリックコメントの募集や市民説明会など、今後も様々な方法で意見収集を行っていく。 | | |
| 8 | 序論・基本構想 | 最新技術 | 26 | 意見 | 牛島委員 | 説明の中で、価値観を変えるというような言葉があり、軽い違和感を覚えた。価値観はむしろ共有することが必要、理解が必要であり、それで変えるべきは視点と思考と行動と考えている。2040年には高齢の方が相当数になると、つまり、幅広い世代の人がこの佐賀市で生きているという価値観を共有する方向で、今回のキーワードであるバックカスティングということでは考える必要がある。 | 「価値観を変える」という表現については、見直しを行う。 | AI等の最新技術とデータを活用したまちづくり 【方針】 価値観を変え、佐賀らしさを引き立てるまちづくり（仮） ：2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市へ 【内容】 （略） 目指す方針は、「価値観を変え、佐賀らしさを引き立てるまちづくり」です。 社会が人に合わせることで、一人ひとりの暮らしが便利になり、時間や心に余裕をもたらします。その結果、人々は物質的な便利さや機能性を求めるのではなく、本質的な幸せ、例えば良好な環境や健康を大切にするように価値観を変えるのではないのでしょうか。そして、地域と深く結びつきながら、互いに助け合うコミュニティ、都市と自然が調和した生活、美味しい食べ物…そんな佐賀らしさは引き立ち、人々が幸せに暮らせるまちとして選ばれ、磨き上げられていくと考えます。 最新技術とデータの活用によって、物質的な豊かさ＝便利から、精神的な豊かさ＝幸福に価値観が変化し、それに合わせたまちづくりにシフトしていく。このことが2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市となるようなまちづくりを目指します。 | AI等の最新技術とデータを活用したまちづくり 【方針】 社会が人に合わせることで、佐賀らしさを引き立てるまちづくり（仮） ：2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市へ 【内容】 （略） 目指す方針は、「 社会が人に合わせることで、佐賀らしさを引き立てるまちづくり 」です。 社会が人に合わせることで、一人ひとりの暮らしが便利になり、時間や心に余裕をもたらします。その結果、人々は物質的な便利さや機能性を求めるのではなく、本質的な幸せ、例えば良好な環境や健康を大切にするように価値観を変えるのではないのでしょうか。そして、地域と深く結びつきながら、互いに助け合うコミュニティ、都市と自然が調和した生活、美味しい食べ物…そんな佐賀らしさは引き立ち、人々が幸せに暮らせるまちとして選ばれ、磨き上げられていくと考えます。 最新技術とデータの活用によって、物質的な豊かさ＝便利から、精神的な豊かさ＝幸福を 重視する視点 に変化し、それに合わせたまちづくりにシフトしていく。このことが2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市となるようなまちづくりを目指します。 ※体系図についても、適宜修正を行う。 |
| 9 | 9都市・交通 | 魅力ある居住環境の創出 | 51 52 | 意見 | 高田委員 | 【審議会後の意見】 住む人暮らしが優先にはなるとは思いますが、「くらし・環境」分科会ではぜひ、昨日ちょうど発表されていた二拠点居住をはじめ、遠方からでも佐賀市に関わりを持つことのできる関わりしをいかに増やすか、という視点でも議論ができると良いと思う。 | くらし・環境分科会の中で、詳細な意見交換を行う。 | | |

※イメージ